【第4回検討委員会】

資料１　本日のアジェンダ・検討資料

■ 日時：平成28年11月9日（水）
■ 場所：鴨川市役所

■ 議題

No.	議題	内容	資料
1	受託事業者の紹介	本プロジェクトに関与するメンバーの紹介等	資料1
2	業務概要の説明	2-1 本事業の位置づけ・目的・進め方 2-2 課題認識と目指す方向性の概要 2-3 作業スケジュールの共有 2-4 検討委員会の位置づけの共有	資料1 作業スケジュール
3	シンポジウム実施の方向性について	シンポジウム実施概要の説明	資料1
4	学生向けシンポジウムの開催について	学生向けシンポジウム実施内容について	資料1
5	先行事例調査について	先行事例調査の方向性	
6	協議したい事項について	拠点事業のコンセプトについて	資料1
7	次回打合せの確認	次回打合せの日程・内容の調整	-

1　受託事業者の紹介

2　業務概要の説明

2-1　本事業の位置づけ･目的

鴨川市の主要な観光資源である「前原横渚海岸」の目指すべき姿を明確化した上で、関連するリソースを有効活用しつつ、実現へのステップを具体化することが本業務の目的である

本業務の位置づけ

総合プランの策定及び観光アクションプランの策定

鴨川市全体の総合戦略を定義する

- 基本コンセプトの策定
- 取り組むべき課題の整理

個別計画の策定「前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画」

当海岸周辺の魅力づくりの実現に向けたビジョンやステップを具体化する。

- 目指すべき姿の明確化
- 活用可能なリソース･土地の整理
- 実現化に向けたステップの整理
- 事業推進の主体者の抽出･整理

事業別実行プランの策定「事業計画」

各事業の実行に向けた詳細なスケジュールを計画する

- 各事業ごとに課題への取り組み方法を具体化
- 各事業毎の詳細なスケジュールを計画

本業務実施にあたっての背景と目的

背景

- ✓ 鴨川市総合戦略では「前原横渚海岸を中心とした海浜エリアの再整備の検討」を新たな観光交流資源の創出や、地域産業の振興に向けた取組みと位置づけている
- ✓ 鴨川市では地域間競争の時代を踏まえ、官民連携した観光振興に向けたコンセプトを策定するとともに、魅力を発信するための”鴨川市観光アクションプラン”を策定している
- ✓ 観光振興を実現するには、観光アクションプランをもとに、実現イメージを共有するビジョンの策定や、行動方針の決定、そのためのステップを整理する必要がある

目的

- ✓ 当海岸周辺における観光業･産業の現状把握と課題の抽出及び分析を行うとともに、**課題解決後の目指すべき姿を明確化**する
- ✓ 目指すべき姿の実現に向け必要な要素を他都市事例等をもとに整理するとともに、**活用できる既存リソースや今後調達が必要なリソースを整理**する
- ✓ プランを具体化し、**何を･いつ･誰が･どのようなコンセプトに基いてどのようなステップで実現化するのかを明確化**することが本事業の目的である

短期的なプロジェクト期間において価値ある検討を行うために、解決案の抽出とその妥当性の確認というプロセスを繰り返す

アプローチ方法

- 短期間でのプロジェクトを効果的に進行するためには、しらみつぶし的に物事を検討するのではなく、限られた情報から解決に向けた案を立て、その妥当性を確認する分析を進めていく手法が有効である

課題解決案を抽出する

- ヒアリング
- 検討委員会

- データ収集
- 事例分析

前段で得られた案の妥当性の確認と精緻化を行う

2-2　課題認識と目指す方向性の概要

ヒアリング調査により、課題認識の確認と海岸の拠点創出について必要性を確認することができた

ヒアリング調査概要

課題認識

- 主な課題は以下の5つに集約され、1・3が大きな課題である
- 短期的には1に取り組み、その結果として3の解決を実現する

1 海岸の魅力活用不足
海岸活用のコンセプト不足、癒し・リゾートイメージ形成不足、海水浴以外のコンテンツ不足、情報発信・PR不足

2 安全・衛生面の懸念
観光客の安全を守る仕組みが不足、老朽化施設の修繕不足、公園・トイレ等の整備不足

3 周辺施設の活力喪失
周辺商業施設の衰退、周辺施設の老朽化

4 良好でない観光客受入環境
海岸への案内掲示不足、公共交通機関の案内不足、駐車場不足、駐車場への案内不足

5 潜在的観光資源の分散・未利用
観光資源が分散し、ゾーニングができていない、遊休地・空き家・空き駐車場が活用できていない

目指す方向性

- エリアに拠点をつくり誘客と消費促進の双方を実現する
- 拠点に求められる機能について今後検討を進める

ヒアリングで出た新たな意見

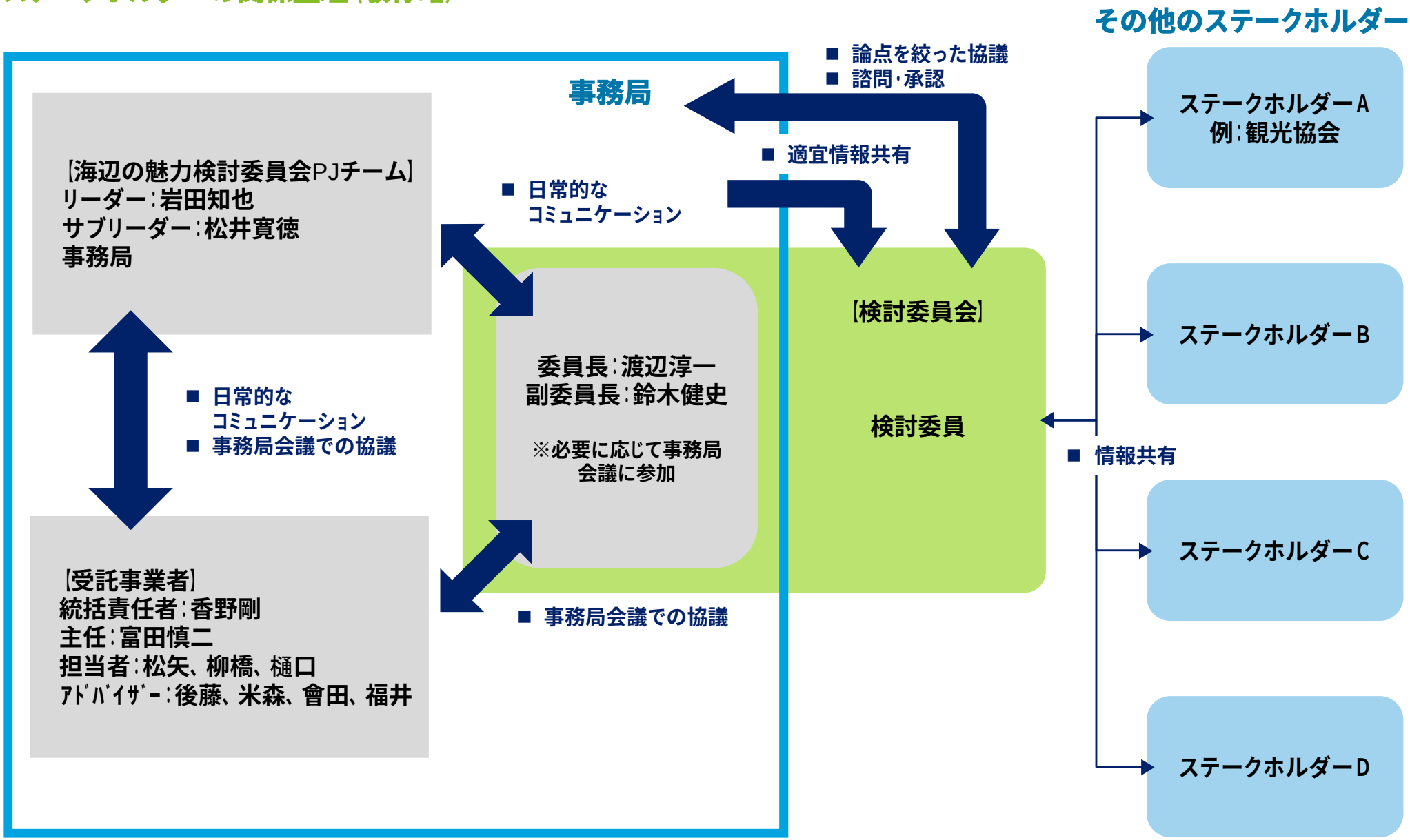
- 「良質な日常」を提供できるようなコンテンツを考える必要がある
- フィッシャリーナに車をとめ、そこから遊覧船で鯛の浦まで移動できるような海の導線を考えることができないだろうか
- トイレが女性、子供が使いたいと思える状況になっていない
- 路上駐車に対し対応が必要であり、サーファーにとってのインセンティブのある対策が必要になるのではないか
- 特産物（ジャンボかぼちゃ、ドラゴンフルーツ）は活用できる
- 商店街の空き店舗について、住宅や倉庫として利用している生活者も多い為、空き店舗としての貸し出しには抵抗感があるだろう
- 海岸の拠点においては観光客だけでなく、地元の生活者も訪れることのできる機能が必要である
- 成田・羽田との距離を活かし、海外に目を向けてはどうか。海外で認められると、日本国内で見直しされるのではないかと思う

2-3　作業スケジュールの共有

2-4　検討委員会の位置づけの共有

それぞれの役割を明確化し、効率的・効果的な検討体制を構築する

ステークホルダーの関係整理（敬称略）



各回のアジェンダを明確にし、効率的かつ効果的な委員会運営を行う

各回のアジェンダ

■ 10月下旬実施（個別ヒアリング）
- 推進会議の位置づけ及び今後のプロセスの認識合わせ
- 各委員の課題認識のヒアリング・将来イメージの共有

■ 第四回：11月9日実施
- 鴨川市の抱える課題の仮説について共有
- 鴨川市の目指すべき姿の方向性について認識確認
- シンポジウムの実施方針連絡

■ シンポジウム開催：12月17日
■ 学生向けシンポジウム開催：12月18日（調整中）

■ 第五回：1月中旬実施
- 現状・課題調査分析結果報告
- 先行事例調査結果報告
- リソース調査結果報告
- 目指すべき姿の実現に向け、必要となる事項の方針検討・合意形成

■ 第六回：2月中旬実施
- 計画策定報告
- 計画策定後に必要な作業の共有・連携体制の構築
- パブリックコメントを踏まえた修正事項を報告
- ベンチャー企業を招集し、連携方法を探る
  マッチングイベントを開催

3　シンポジウム実施の方向性について

田鹿氏による講演とアンケートを基にした対談を実施することで、当該計画への関心を高めるとともに、多様な視点から意見をいただく

シンポジウム企画（案）

目的

- 鴨川市の海岸活性化の取り組みについて認知度および関心度を高める
- アンケート等により、検討方針について、様々な視点から意見をいただく

コンテンツ

講演	マーケティング視点からの地域活性化

講師　：　田鹿倫基（たじか・ともき）
　　宮崎県日南市マーケティング専門官

経歴　：　宮崎大学を卒業後、㈱リクルートに入社し事業開発室に配属されインターネット広告の新規事業の立ち上げを行う。入社半年後にはリクルートと電通のジョイントベンチャーである㈱ブログウォッチャーも兼務。その後、中国の広告会社、愛徳威广告上海有限公司に転職し、中国人スタッフとともに北京事務所の立ち上げを行う。2013 年からは宮崎県日南市のマーケティング専門官として着任し、地域のマーケティング事業を行う。ベンチャー企業との協業事業や、農林水産業の振興、日南市全体のPR,マーケティング業務を担っている。

選定理由：観光マーケティングにおける知見や多様な企業との連携実績からの講義が、鴨川市への示唆につながるものと考え選定した。実践者として課題解決を進めている田鹿氏は、新たな取組をはじめる鴨川市に最適な講師だと考える。

対談	地域の活力を生み出す拠点に求められる機能

会場へのアンケートをもとに、田鹿氏と渡辺委員長による対談を実施する

タイムテーブル

開始時刻		終了時刻	項目
15時00分	～	15時10分	開会あいさつ・趣旨説明
15時10分	～	16時10分	田鹿様ご講演
16時10分	～	16時20分	前原横渚海岸周辺の魅力作りプラン 検討経過の紹介
16時20分	～	16時35分	休憩 （この間に対談で聞いてみたい内容についてアンケートを実施）
16時35分	～	17時15分	対談
17時15分	～	17時30分	閉会あいさつ・写真撮影
17時30分	～	17時40分	参加者アンケート

4　学生向けシンポジウムについて

● 学生向けシンポジウム実施内容について

学生を対象としたフューチャーセッションを行い、若い視点からの意見招請と計画実行に向けた仲間集めを行う

学生向けシンポジウム概要

目的

若い視点からの意見招請をすると共に、計画の実行に向けた仲間を集めること

概要

■ 日時（調整中）
12月18日（開催回数1回）

■ 実施会場
大学の会議室等

■ 人数
30～50人程度

■ 手法
ワークショップ（フューチャーセッション）

タイムテーブル（案）

開始時刻		終了時刻	項目
13時00分	～	13時05分	開会あいさつ・趣旨説明
13時05分	～	13時25分	基本情報の共有 ・鴨川市の現状・課題 ・海岸の拠点づくり構想概要 ・事例紹介
13時25分	～	13時30分	フューチャーセッションのルール説明
13時30分	～	13時50分	マグネットテーブル
13時50分	～	14時15分	ラウンド1 「理想的な海岸拠点（ビーチパーク）像は？」
14時15分	～	14時30分	ラウンド2 「理想実現のために求められる機能は？」
14時30分	～	14時50分	ラウンド3 「理想実現のために自分自身が今できることは？」
14時50分	～	15時15分	各班発表
15時15分	～	15時25分	閉会あいさつ・写真撮影
15時25分	～	15時30分	アンケート記入

※時間については検討案であり詳細は未定です。

5　先行事例調査について

当海岸と類似した課題を抱えていたと想定される事例を選定し、その取組内容について調査を実施する

主要課題の解決に係る事例（案）

	宮崎県宮崎市	愛知県常滑市	東京都江東区
	AOSHIMA BEACH PARK	TOKONAME RINKU BEACH PARK	MAGIC BEACH
参考となる課題解決	■ 海岸の魅力活用不足 ■ 安全・衛生面の懸念 ■ 周辺施設の活力喪失 ■ 良好でない観光客受入環境 ■ 分散した各種観光資源	■ 海岸の魅力活用不足 ■ 安全・衛生面の懸念 ■ 良好でない観光客受入環境	■ 海岸の魅力活用不足(*1) ■ 良好でない観光客受入環境 ■ 分散した各種観光資源
取組概要	■ 海岸の統一感・コンセプト ➢我々が目指す、海のある暮らし。それは、海水浴やサーフィンだけではありません。皆さんの日常の生活の傍に海が在る。そんな素敵時間を、この空間でご提供できればな、と考えております。（中略）今年の青島の夏は、熱く長くなりそうです。 ■ 海水浴以外のコンテンツ ➢ヨガ、ライフセービング、パドルボート、カヌーによるクルージングアクティビティの開催　等 ➢東京・大阪で人気のハンバーガーショップの出店、地元青島湾の食材を活かした「青島屋」の出店　等 ■ 情報発信・人的交流 ➢特設ウェブサイトの公開や、Facebookを活用したターゲット顧客への双方向の情報交換の促進　等 ➢日本財団の助成事業である「渚の交番」との連携による海岸及び周辺エリアのパトロールや清掃運動の実施 ➢青島では空き店舗テナントリーシングを推進　等	■ 海岸の統一感・コンセプト ➢常滑市りんくうタウンの中心にある白浜のビーチ キレイな海に、心落ち着くサンセット BBQエリアで特別な食事を ■ 海水浴以外のコンテンツ ➢リゾート気分を楽しめる海上ウォーターパーク、BBQエリア、ライブなどのステージイベント、キッチンカーの出店 ➢人口の白砂ビーチでの釣り、ウォーキング ➢隣接するイオンモール常滑でのショッピング　等 ■ 情報発信・人的交流 ➢特設ウェブサイトの公開や、Facebookを活用したターゲット顧客への双方向の情報交換の促進　等 ➢常滑市から指定を受け、指定管理者制度に基づく管理運営を行っている。 団体名：りんくうビーチ運営共同事業体 代表団体：イオンディライト株式会社　東海支社 構成団体：常滑市観光協会、アクティオ株式会社	■ 海岸の統一感・コンセプト ➢「ゆっくりと風を感じ、広大な空が見えるビーチタウン」SPORT, EVENT, そしてMARKETやCAFÉ, PARTY,,, ビーチの開放感やマインド,スタイルとファッションが融合した「感動と創造、刺激」を「独自の世界観」で ■ 海水浴以外のコンテンツ ➢WHITE LINE：日本初のPOPUP型コンテナモール。人気のブランドショップの数々が全長「100m超のビーチタウン」を創造。 ➢AREA S：様々な使用用途を想定した、広大な4つのエリアは、スポーツイベントをはじめ様々なパーティーや、エキシビションを開催 ➢THE BEACH 55®：葡萄の枝でスモークする「フレンチバーベキュー」やフィンガーフードとワインやシャンパンで「リゾートパーティー」を満喫 ■ 情報発信・人的交流 ➢特設ウェブサイトの公開 ➢遊休地・土地活用プロデュース事業者”リクリエーションズ株式会社”による事業運営

写真出所：受託事業者にて撮影
取組概要出所：AOSHIMA BEACH PARK（http://aoshimabeachpark.com/）、常滑りんくうビーチ（https://rinku-beach.jp/）、MAGIC BEACH（http://www.magicbeach.jp/）

6　協議したい事項について

エリア拠点のコンセプトについて多様な視点から協議し、イメージをすり合わせる

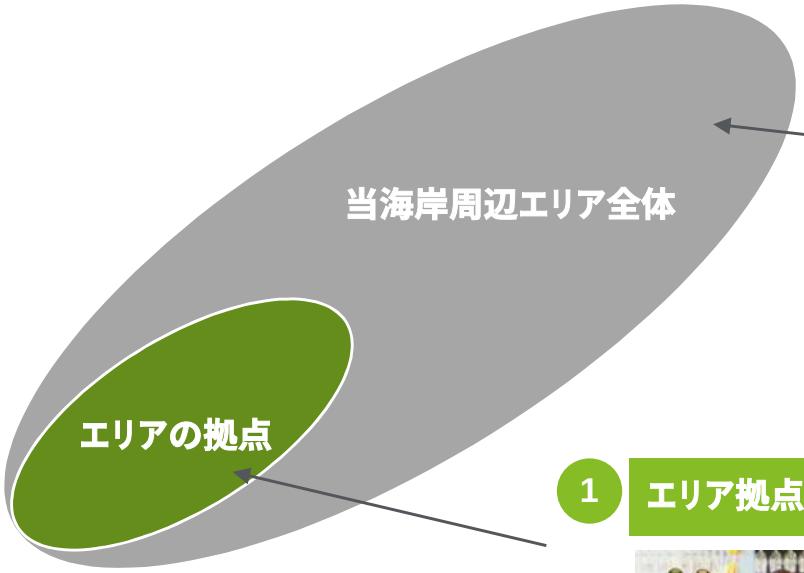
将来像実現のコンセプト

今後、前原横渚海岸の拠点について検討していくにあたり、**軸となるコンセプト**が必要である

拠点のコンセプトは、鴨川市の観光コンセプト「心が満たされる、癒しのリゾート鴨川」と整合させる必要がある

それらを踏まえ、事務局協議では「良質な日常」というコンセプトが適切ではないかと話し合いをした

検討委員会においては当該コンセプトへのご意見を伺うとともに、「良質な日常」についての認識を合わせていきたい



2 良質な日常のイメージを周辺エリア全体へと波及させ、「心が満たされる、癒しのリゾート鴨川」を実現

- 帰ってきたい第二のふるさと
- 暖かく癒されるまち
- 自分を取り戻せる場所
- 田舎リゾート

1 エリア拠点において「良質な日常」の具現化

- あたたかい人のつながり
- 自然の中での運動
- おしゃれなカフェ・ベーカリー
- 地元との結びつきがある
- 地元のものが食べられる

エリア拠点コンセプトについて、それぞれの立場からのイメージを言語化する

お願いしたい作業1 （個人ワーク）

1 指定されたターゲット像を具体化してください

A班 前原横渚海岸に来てほしい 日本人（リピーター客）
B班 前原横渚海岸に来てほしい 外国人（リピーター客）
C班 前原横渚海岸に来てほしい 地域に住む人

※ターゲット分類は鴨川市観光アクションプランおよび検討委員へのヒアリングをもとに設定しています

2 各々が具体化したターゲット像がイメージする「良質な日常」をモデル式として記載してください

（例）

日本人リピーターの具体化
神奈川県在住、40代、サラリーマン、4人家族、
自身が子ども時代に鴨川を訪問した経験がある

「良質な日常」
＝その土地の生活×波の音×深呼吸＋家族の笑顔

それぞれのイメージを共有し、すり合わせを行う

お願いしたい作業2 （グループ協議）

**皆さんが考えたターゲット像および
モデル式を共有してください
また、皆さんの意見を合わせ新たなターゲット像
およびモデル式を作成してください**

（例）

日本人リピーターの具体化
　XXX在住、XX歳、趣味XX

「良質な日常」
　＝ ●● ×▲▲－■■

7　次回打合せの確認